

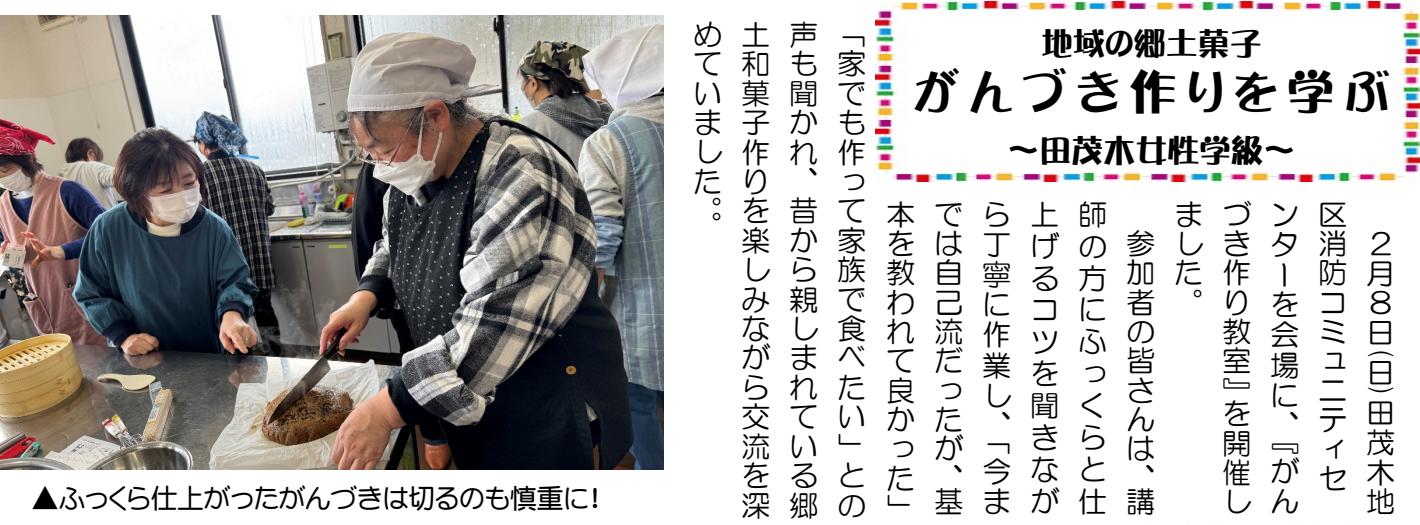


▲文部科学省で開催された表彰式の様子
2月6日（日）、令和7年度第78回全国優良公民館文部科学大臣表彰式が行われ、一関市室根市民センターが表彰を受けました。

今回の受賞は、人口減少や少子高齢化といった地域課題を踏まえ、青年教育事業において「地域に残る若者世代の居場所づくり」を進めてきたこと、また若者の視点を生かした地域課題解決の取組として、桜のライトアップや七夕夏まつりなどのイベントにおける中高生の参画事業を実施し、将来の地域リーダー育成に努めてきた点が高く評価されたものです。

さらに、児童・女性・成人・高齢者など多世代を対象とした各種事業を展開し、町内に1館として地域に根ざした市民センターの活動が、今回の受賞につなぎました。

今後とも、地域の皆様の一ี族にお応えしながら、市民センターとしての役割を果たしてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申上げます。



▲ふつくら仕上がったがんづきは切るのも慎重に!

「家でも作って家族で食べたい」との声も聞かれ、昔から親しまれている郷土和菓子作りを楽しみながら交流を深めていました。

「家でも作って良かった」と本を教わって良かったです。

「丁寧に作業し、「今まで自己流だったが、基本を教えて良かった」との声も聞かれ、昔から親しまれている郷土和菓子作りを楽しみながら交流を深めていました。



行事予定			
※26日～翌月25日までの予定を掲載しています 都合により行事予定が変更・中止となることがあります。予めご了承ください。			
月 日	行 事 内 容	場 所	時 間
2月 一	—	—	—
2(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
9(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
14(土)	室根市民センター第78回全国優良公民館文部科学大臣表彰受賞祝賀会	及善本館	15:00～
16(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
23(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里201-1
TEL. 0191-64-2347/FAX. 0191-64-3044
E-mail : mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】
2月も過ぎ、3月になろうとしています。この季節は、卒業、年度末などで忙ただしい月となりそうですね。
そんな時には季節の花（梅、福寿草、ネコヤナギなど）をみて、気分をリフレッシュしていきましょう!! (M)

2月8日(日)田茂木地区消防コミュニティセンターを会場に、「がんづき作り教室」を開催しました。

参加者の皆さん、講師の方にふつくらと仕上げるコツを聞きながら丁寧に作業し、「今まで自己流だったが、基本を教わって良かった」との声も聞かれ、昔から親しまれている郷土和菓子作りを楽しみながら交流を深めていました。

2月14日(土)1区女性学級が樋口農会館を会場に、健康教室を開催しました。

健康運動指導士の佐藤恵先生の指導の下ボールを使った筋力トレーニングや、より効果的なストレッチの仕方などを教わり、「家にいるばかりだったので、体を動かして楽しい」、「筋肉の使い方が学べた。家でも実践したい。」との声が多く、冬場の運動不足解消にもつながる良い学習機会となりました。

おうちの人と一緒に ジャンボ恵方巻づくりに挑戦!

1月31日(土)、室根市民センター子ども土曜塾で「おうちの人と一緒にジャンボ恵方巻を作ろう!」を開催しました。

節分に合わせた恒例行事で、家庭ごとにキューリ・ニンジンを好みの形に切って準備し、その他七福神にちなんで7つの具材を、長くつなげた海苔で酢飯と共に巻き上げました。

具材の配置や切り方が自由といふこともあり、家族で相談しながらそれぞれ違った、個性豊かな恵方巻が完成しました。

のり巻きを落ち着かせている間はボールダーツや輪投げで遊び、仕上がった断面を見た子どもたちからは歓声が上りました。参加者からは、「おいしくて楽しかった」「家では作れない大きさで良い体験になった」といった声が寄せられました。



▲▼協力して恵方巻をつくる参加者



文芸(短歌・俳句・川柳)

1月26日～1月25日 投句

短歌 ↗ 佐藤 知男 選り

雪の中貴方の街へ汽車に乗り
頬伝う涙の訳は窓の雪
貴方の事が好きだからだけ

矢越 加藤 光春

馬使い泥水浴びての代搔きは
眠れぬ夜の遠き思い出
初孫はお年玉手にえびす顔

祝う集いの主役となりて

矢越 小山 富子

テレビ画面次々映る食べ物に
おいしそうだと母娘で連呼
柿落とす我の仕草に目を止めて

待ちいたる小春日和の藁仕事
房を仕上げて明日にそなえり
雄かもしかはしばしたたずむ

折壁 西 民

ほほじろの番が庭に来てをりぬ
黄なる薔の福寿草萌ゆ
幸せ紡ぐ春はすぐそこ

《選者詠》

日溜まりにかすかに春の声ありて

つがひ

幸せ紡ぐ春はすぐそこ

《選者詠》
街角に馬産の名残籬の膳

俳句(短歌・俳句・川柳)

1月26日～1月25日 投句

俳句 ↗ 村上 群青 選り

靈山や雪の化粧のうつすらと
雪だるま玄関脇のすまし顔

折壁 雷 風

恋しくて貴方の街へ雪列車
春が来るマザーグースの子育ての
室根山狭庭に拝む初日かな

折壁 小山 すゑ

目薬注し年末年始テレビ見る
井戸端の水にふくらむ猫柳
老いの身をばげます医師の初笑い

折壁 佐藤 川古

本日はおもてなしの夕食
おもてなしの夕食

《選者詠》

日溜まりにかすかに春の声ありて

つがひ

幸せ紡ぐ春はすぐそこ

《選者詠》
街角に馬産の名残籬の膳

川柳(短歌・俳句・川柳)

1月26日～1月25日 投句

川柳 ↗ 内田 正好 選り

アンカーに託すふるさと広島の道
箱根路を走る背中に町が湧く

折壁 走 男公

期待せず観た映画でもやはり泣く
年末の配達さんに感謝して
頭搔きついでにべそも句作りだ

矢越 加藤 光春

冬の日のわずかな晴れ間ぬくもりの時間
真冬日の衆院選挙誰のため

折壁 昭和 小葉

《選者詠》

日溜まりにかすかに春の声ありて

つがひ

幸せ紡ぐ春はすぐそこ

《選者詠》
街角に馬産の名残籬の膳

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。

選者による添削ののち、選ばれた句が翌号に掲載となります。【例：3/25 締切分→5/1 発行号掲載】
皆さんの投稿をお待ちしております！

本場中国の味を学ぶ! 皮から作る餃子づくり教室開催

1月28日(水)、室根市民センターを会場に、高齢者学級『餃子づくり教室』を開催しました。

当日は桜田仁美氏(中国出身)を講師に、水餃子と焼き餃子の2種類に挑戦しました。

材料はひき肉、白菜、ネギ、ニラなどの具材を下ごしらえした後、それぞれの具材をその都度混ぜる事で、食材の持つ感触や歯触りを保てる事や、皮もぬるま湯で作ることで発酵が促されると、もちもちとした食感が生まれることなどを教わり、参加者の皆さんはグループごとに協力して作業していました。

出来上がった餃子はとても美味しい、「すぐ家に帰つてもう一度作つてみる」「いつも作つているのとは違う美味しい。また参加したい」との声が聞かれ、今後の事業にもつながる良い機会となりました。



▲講師から皮づくりを教わる参加者



「百姓身持御條目」を題材に 室史談会と古文書読み教室開催

2月18日(水)、室根市民センターを会場に、文化講座「古文書読み教室」を開催しました。

室根町史談会の渡邊精一氏を講師に、今から300年ほど前の江戸時代享保年間に、仙台藩が規定した農民の生活規範、日常の心得集『百姓身持御條目』を読み解き、「年貢は決められた時節に納めなさい」「農民は朝晩雑穀を食べなさい」など、農作業から着衣まで事細かに定められた文献資料を見ながら説明を受けました。

先人たちが多く決めごとの中でどのような暮らしをしていたかと一緒に読み解いた参加者からは、「書いて説明するより、資料を見ながらの口頭説明だったので、内容がわかりやすかった」との声があげられ、良い学習機会となりました。



▲▼講師からの丁寧な説明を聞く参加者



「百姓身持御條目」を題材に
室史談会と古文書読み教室開催

